

アニメーター・ラーニング・フォーラム 2023

教室から世界へ



国内外の言語学習、多文化交流での実践報告

宮崎大学 B-JETプログラム 特別講師
鵜澤 威夫

意見交換

日本語教育での多彩な表現は多文化交流、そして**分野・教科横断学習へと発展**できるでしょう。

鍵は、アイデアを伝える、プレゼンテーション。

アニメで、伝える。さらに、「多彩な表現」や「動画的表现」へ広がる。指導者が馴染んだ指導法に留まる間に、学習者はネットで映像に接し、映像作成スキルも高めています。

「アニメをつくりたい」意欲も高く、学びへの好循環も期待できます。

みなさんの経験、みなさんが実践したいことを話し合いましょう！

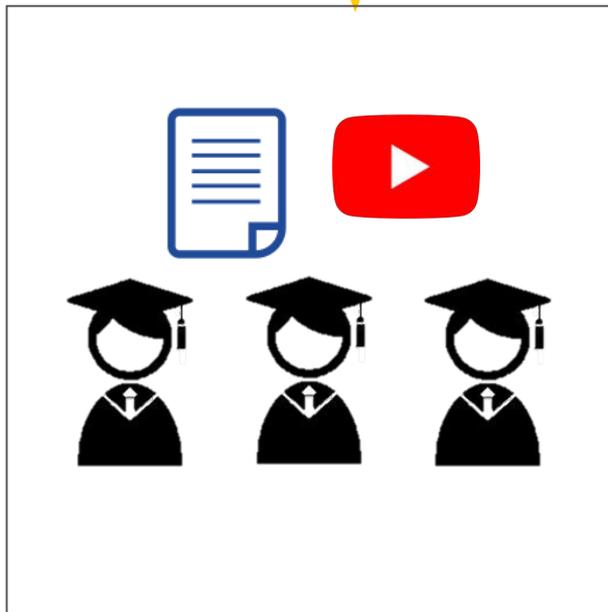
みなさんと共に、新しい学び方を創っていきたいと願っています。

B-JETとは？

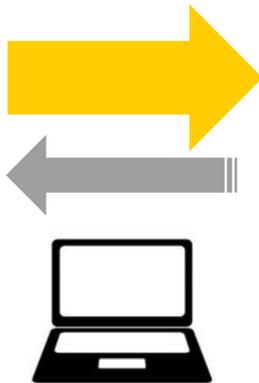
日本語学習5週目プロジェクトワーク



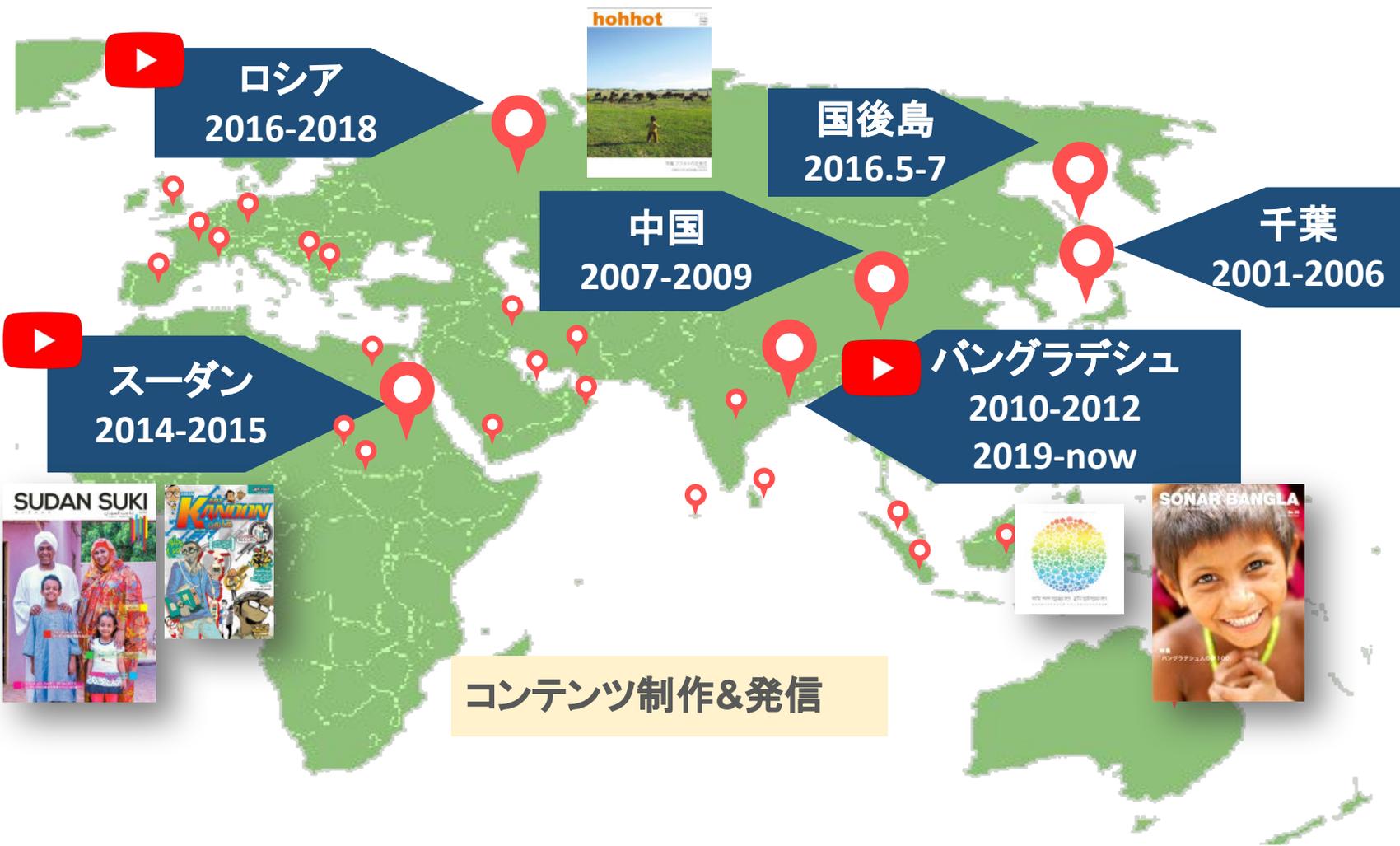
教室から世界へ(～2020)



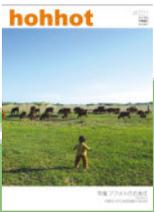
教室



世界



ロシア
2016-2018



国後島
2016.5-7

中国
2007-2009



千葉
2001-2006



スーダン
2014-2015



Bangladesh
2010-2012
2019-now



コンテンツ制作&発信

動画：各国にで日本語チャンネル創設し配信



YouTube

スーダン日本語チャンネル



YouTube

エカテリブルク日本語チャンネル

You 

スーダン日本語チャンネル

You 

バングラ日本語チャンネル

You 

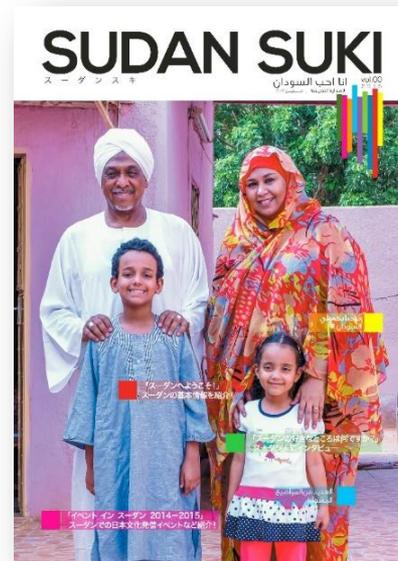
エカテリンブルク日本語チャンネル

You 

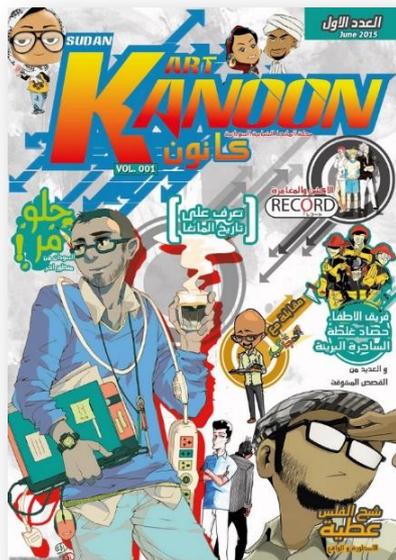
B-JET日本語チャンネル



日本語教育 × 雑誌



日本語教育 × マンガ



「Bitter&Sweet」
by アラー・アハマド・ムサ

日本語教育 × 音楽

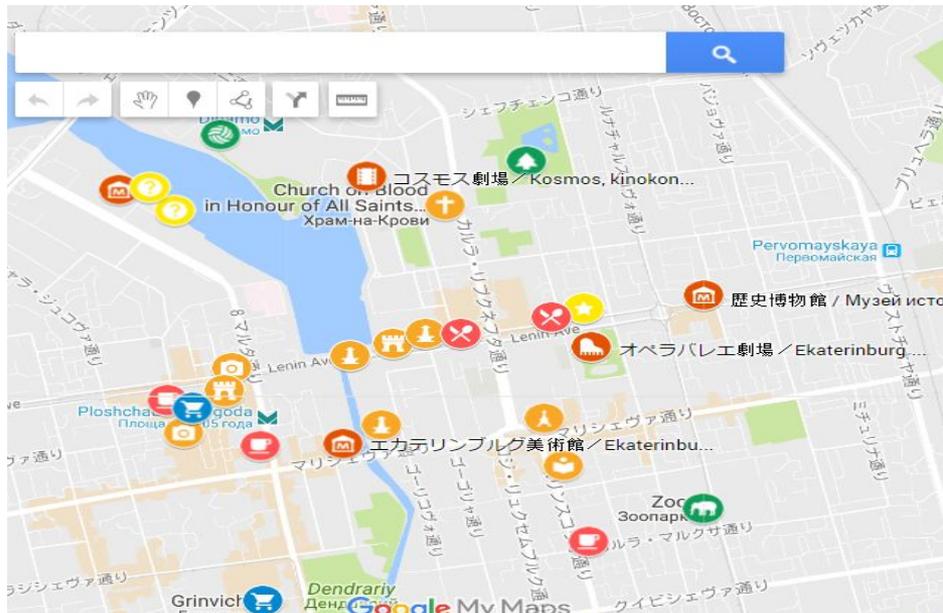


日本とバングラデシュの
友好ソング



各国で合唱動画

日本語教育 × 観光(ガイドマップ)



ロシア(エカテリンブルク市のガイドマップ)

オンライン日本語動画コンテスト



bjet
13期生

#01 #02 #03
プザ・キチャリ
Shyukhchali

B-JET 
**日本語ビデオ
コンテスト**
FINAL

6 決勝 作品

#04 #05 #06
1 MINUTE VIDEO TO BANGLADESH
Bangladesh
BANGLADESH INTRODUCTION

テーマ 『**バングラデシュの紹介**』

バングラデシュで日本就職を目指す若きITエンジニア(B-JET生)たちが日本語でバングラデシュを紹介するビデオを作りました！応募数22作品から決勝進出した6作品、みなさんもぜひ視聴＆審査してください！

審査期間
2024年
2/1 Thu ~ 3/1 Fri

QRコードから
全6作品(各1分)を
審査してください！

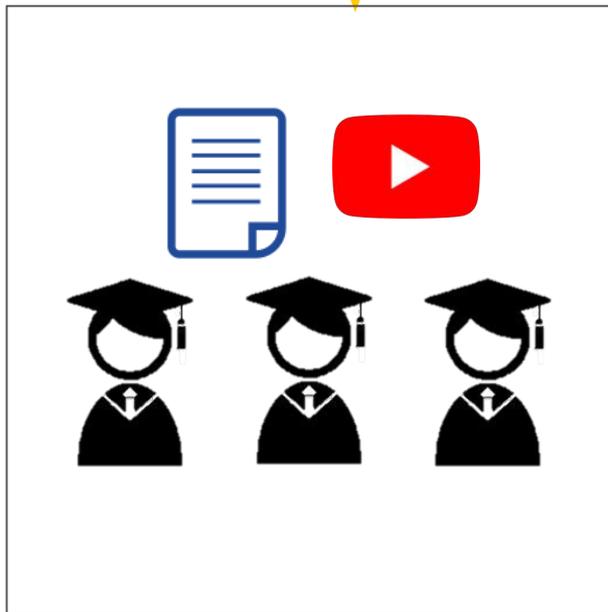
B-JET 日本語チャンネル



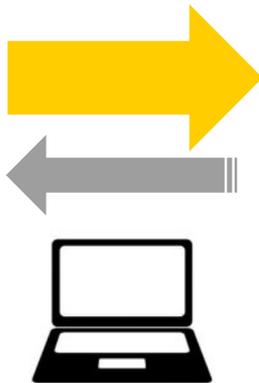
ご所属	
1	宮崎大学
2	宮崎大学日本語養成プログラム第5期生
3	宮崎県諸塚村立諸塚中学校
4	株式会社新興出版社啓林館
5	グローバルギークス株式会社
6	一般社団法人アニメテッドラーニングらぼ
7	一般財団法人デジタルコンテンツ協会
8	国際協力機構 (JICA)
9	国内日本語学校非常勤
10	小林市地域日本語教室KIZUNA
11	日本バングラデシュ協会
12	サンクトペテルブルク国立文化大学JREX派遣日本語教師)



教室から世界へ(～2020)

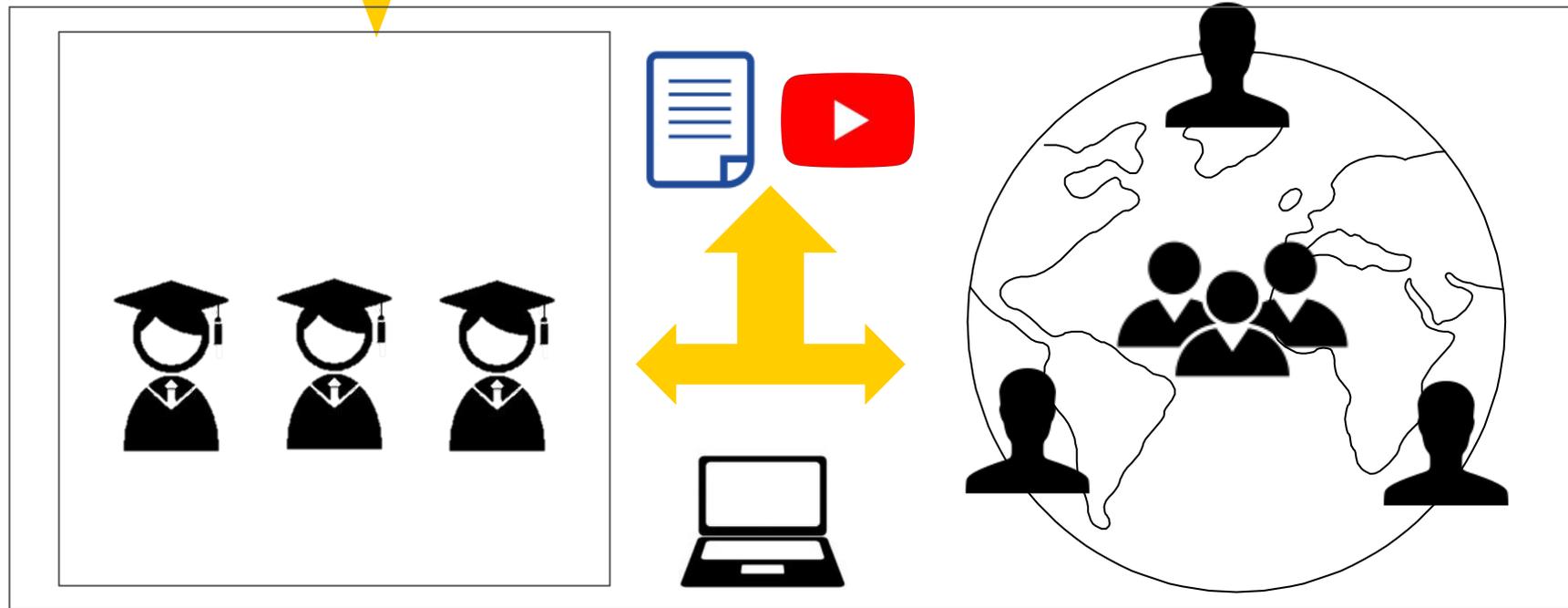


教室



世界

教室から世界へ(2021~)



教室



世界

学習言語の使用・交流機会の不足

- ・ネイティブの友人,知り合いの不足
- ・日常生活での必要性の不足
- ・留学等、追加費用の不足



学習言語の使用・交流機会の創出

- ・ネイティブの友人,知り合いができる
- ・日常生活での必要性ができる
- ・費用を最小限に抑えられる



バングラデシュ

@Bangland

宮崎県高千穂





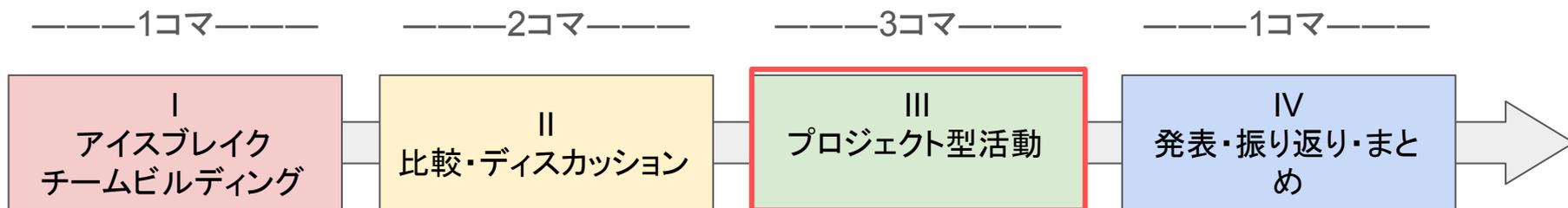
Bangladeshの日本語学習者と日本の中学生・高校生の
 協働オンラインカフェ@高千穂高校



宮崎県諸塚村立諸塚中学校 全校生徒30名と交流

COIL: Collaborative Online International Learning

- ・オンライン国際協働学習
- ・全7回のプログラムで構成し、活動時間は1コマ50分間
- ・日バ混合グループで交流を通じ協働学習を実施。
- ・4回目から6回目で発表する課題「国や町の紹介」の準備し発表



協働活動の流れの例 (SUNY COILモデル) (村田・佐藤2022)

様子：B-JET CAFE 第3回（中学生や高校生と交流）

画像クリックで
動画再生



成果：B-JET CAFE 第7回（発表会（2022））

画像クリックで
動画再生



日本語：バングラデシュの紹介



英語：高千穂の紹介



ベンガル語：高千穂の紹介

■B-JETのここが好き・楽しい

今まで他の国との交流はあまりありませんでした。それが毎週なので、クラスメイト感覚で交流ができてとても楽しいです。英語にはあまり自信がありませんでしたが、時には日本語やジェスチャーを使って気持ちが伝わった時にとても嬉しくなります。更に私はslackを使って、授業外でもバングラデシュになさそうなものを写真(雪や紅白歌合戦など)で送って交流しています。言語だけでなく、色々なコミュニケーションの取り方を楽しんでいます。

■新しく知った・気が付いたこと

日本の良さです！自分の周りに当たり前にある伝統や文化を、「すごい！」と言って尊敬してくれて嬉しくなります。日本食やアニメもよく知っていて、外から言われて日本のすばらしさや素敵どころに改めて気が付くことができました。私は自分が神楽をしていることをあまり周りに言っていなかったのですが、日本にこんなに関心を持ってもらえるならもっと伝えていきたいと思いました。

■日本と同じだと思ったこと

「学ぶことに一生懸命な人たちがいる」ということです。他の国にも自分たちと同じように目標をもって学んでいる人たちがいる、ということは当たり前ですが今まで意識したことがなく、出会ったり話したりする機会もありませんでした。むしろB-JETのみなさんの方が積極的な上に一生懸命で、私も負けてられないな、と思いました。

■良かったこと

異文化理解の促進、言語学習の充実、発信の機会の確保…など良いことは沢山ありますが、何よりも良いのは生徒の素敵なところを沢山見られることです。国が違って、お互いを尊重して、1つのプロジェクトを実行する。その中で困難があっても柔軟に考えたり、笑顔で協力する姿を見ると、私自身が学ぶことも沢山あります。

■参加する前と後で、生徒の変化

日常の授業では、「英語を使う相手」が明確に見えたことで学習に取り組む姿勢に積極性が生まれました。ICTに関しても学校で1番使いこなせると思います。ですが、このB-JETでの学びは彼らの内面に大きく影響を与えていて、その変化は目で見えない部分もたくさんあると思います。その変化は、これからの彼らの人生を豊かにするのだろうか、とも思います。

■今後、期待すること

海の向こうに友達がいるのが当たり前。言語を教えあったり、文化を尊重しあったりするのが当たり前。そのように「当たり前にするのが絶対難しいこと」の壁を越えて機会を与えて下さったのがB-JETです。「国際交流はイベント」という固定概念がなくなるB-JET CAFEのような活動が、今後もっと増えることを期待しています。

- 高千穂高等学校
- 門川中学校
- 諸塚中学校
- 日之影中学校

アニメテッドラーニング導入の検討

類似点

- ・ COIL型教育(オンライン国際協働学習)
- ・ 動画制作(※制作方法の違い ex.アニメ=コマ撮り)
- ・ 運営側 & 学習者の横断的交流が必要
- ・ 特に言語の指定なし(DeepLなど使用OK)

課題

- ・ アニメ制作のノウハウ不足(運営側・学習者側)
 - ※プロジェクト企画スキルは参考になる(ワンページャー等)
- ・ 言語能力のギャップの予防
- ・ 「アニメ」でしかできないことの確認
- ・ 宗教上の理由で絵を描くことを良しとしない学習者への対応